

授業科目名	とやま地域学	科目コード	G6006P02
英文名	Toyama Regional Studies		

科目区分	教養科目 - 領域を超えて学ぶ科目
------	-------------------

職名	教授	担当教員名	助重 雄久
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	集中	時限	集中
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>2015年の北陸新幹線開業以来、富山県は多くのメディアに取り上げられ、国内外から注目されています。一方、少子高齢化が一段と進んで地域活力の低下が懸念されており、2018年から県の新総合計画による対策がスタートしました。皆さんにも新時代に対応したライフスタイルの確立が求められています。</p> <p>今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的としています。そのために、「富山は日本のスウェーデン」の著書とは別の視点に立ち、富山の自然・歴史や現状、未来について、さまざまな分野の専門家から学びます。富山の魅力を発見し、活力ある富山の地域づくりについて、皆さんの視点から考えてみましょう。</p>
-------	--

キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然と災害	富山の産業と生活	地方の未来創生	世界遺産
-------	----------	----------	----------	---------	------

到達目標	目標1：富山の歴史文化・産業・生活環境などの現状を学び、特色を理解することができる。
	目標2：富山の自然・農業・災害について学び、持続可能で安全な地域づくりを考えることができる。
	目標3：政策のプロの講義や現地研修を通し、富山・北陸地域の活性化について考えることができる。

ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【予習】	
	【復習】	
	授業ガイダンス・日程等に関する説明 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
第2回	【予習】	
	【復習】	
	AI、デジタル化社会から見る富山 富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏	
第3回	【予習】	
	【復習】	
	富山の観光とその未来 - 北陸新幹線の敦賀延伸と黒部レートの開通がもたらすもの - 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
第4回	【予習】	
	【復習】	
	データから見る富山の産業と生活 富山地域学研究所所長 浜松 誠二 氏	
第5回	【予習】	
	【復習】	
	朝日町の良さを活かした移住・定住促進 朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏	
第6回	【予習】	
	【復習】	
	富山の農林水産業の新しい姿 富山県副知事 横田 美香 氏	
第7回	【予習】	
	【復習】	
	町家のリノベーションと地域活性化 グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏	
第8回	【予習】	
	【復習】	

第9回	富山のくらしと水 富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	富山県の自然と歴史・未来・防災・基幹インフラ・産業・文化・環境・共生・人づくり - 消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	北陸・富山の地形の特徴 - 扇状地や河岸段丘を中心に - 日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	富山市街地の歴史をたどる（レクチャー） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	富山市街地の歴史をたどる（バーチャルフィールドワーク） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	富山市街地の歴史をたどる（ディスカッションと解説） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	まとめ、課題提出について 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修（50%）、レポート（50%）をもって総合的に評価する。試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>	テキストは無料配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。		
オフィス・アワー			